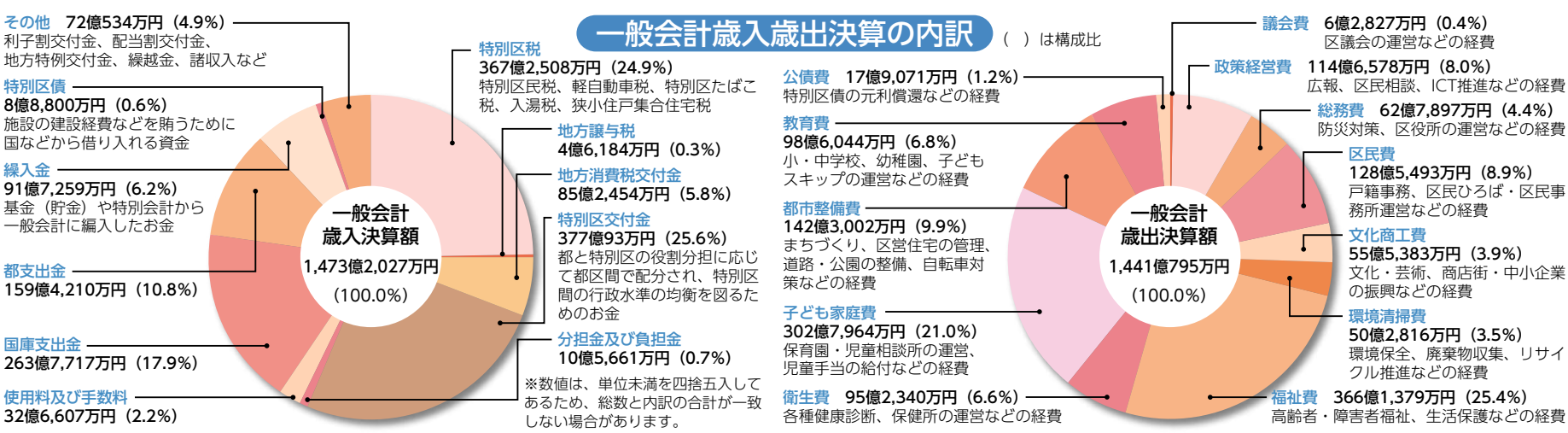


令和5年度 決算を認定

令和6年第3回定例会は、9月18日から10月25日までの38日間にわたって開会されました。
今定例会では、令和5年度一般会計及び3特別会計決算等の審議が行われ、決算4件を認定したほか、区長提出議案14件を可決、報告1件を了承しました。
陳情は、2件を不採択、新たに3件を閉会中の継続審査としました。



見やすく・親しみやすくをコ
ンセプトに、区議会ホームペー
ジのリニューアルを10月31日に
行いました。
左の二次元コードより、ぜひ
ご覧ください。



区議会ホームページを
リニューアルしました

「非常災害時における相互
支援に関する協定」を締結してい
る遊佐町において、7月25日に
山形県庄内地方を中心とした記
録的な大雨により、河川の氾濫、
建物への浸水、土砂崩れの発生
など甚大な被害が発生しました。
被災された方々を支援するため、
9月10日、豊島区議会は義援金
10万円を遊佐町に送りました。
謹んでご報告申し上げますと
もに、被害に遭われた皆様にか
らお見舞い申し上げます。

令和6年山形県遊佐町大雨災
害義援金を送りました



10月17日の決算特別委員会に、
校外学習として、南池袋小学校
の6年生の皆さんが傍聴に來ま
した。

南池袋小学校児童の傍聴について

主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 2面
- 区政のここが聞きたい
～一般質問(要旨)～ 3～6面
- 常任委員会Q&A
決算特別委員会 7～8面

※点字による場合は、別途、区議
会事務局にご相談ください。
本会議、予算特別委員会はイン
ターネットによる
ライブ中継を行っ
ております。



議会日程(予定)

- 令和6年第4回定例会
12月3日 本会議(最終日)
- 令和7年第1回定例会
2月5日 告示
2月6日 請願・陳情締切※
2月12日 本会議(初日)
2月18日 本会議(一般質問)
2月19日 本会議(一般質問)
2月21日 常任委員会
2月25日 常任委員会
3月3日～3月21日 予算特別委員会
3月26日 本会議(最終日)



リニューアル後のトップページイメージ

○：可決等に賛成　×：可決等に反対

議案等の概要と審議結果			自民党豊島区議団（8人）	公明党（7人）	立憲・れいわ（6人）	都民ファーストの会・国民（5人）	日本共産党（5人）	維新・無所属（4人）	無所属元気の会（1人）	結果
番号	件名	概要								
認定第1号	令和5年度豊島区一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：1,473億2,026万6,254円 歳出決算額：1,441億795万11円	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第2号	令和5年度豊島区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：304億8,803万6,881円 歳出決算額：294億9,868万151円	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第3号	令和5年度豊島区後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：72億7,615万8,850円 歳出決算額：70億741万3,670円	○	○	○	○	×	○	○	認定
認定第4号	令和5年度豊島区介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：208億5,629万681円 歳出決算額：204億172万9,291円	○	○	○	○	×	○	○	認定
報告第9号	令和5年度決算における健全化判断比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和5年度決算における健全化判断比率を報告する。	了承							
第66号議案	子育て部分休暇の導入等に伴う関係条例の整備に関する条例	子育て部分休暇の導入等に伴い、関係条例について所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第67号議案	豊島区男女共同参画推進条例（一部改正）	ファミリーシップ制度の導入に伴い、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第68号議案	豊島区立区民集会室条例（一部改正）	豊島区立朝日区民集会室の位置、休館日及び使用料を定める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第69号議案	豊島区地域区民ひろば条例（一部改正）	区民ひろば朝日の位置を改める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号議案	豊島区国民健康保険条例（一部改正）	国民健康保険法の一部改正に伴い、被保険者証の廃止に係る所要の改正を行うとともに、急患等として保険医療機関等を受診した被保険者が一時的に資力を活用できない場合の保険料の徴収猶予について定めるほか、規定の整備を図る。	○	○	○	○	×	○	○	可決
第71号議案	豊島区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例	児童福祉法の一部改正に伴い、一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第72号議案	区民ひろば高南第二・高田介護予防センター全面改修工事請負契約について	契約方法：条件付一般競争入札 契約金額：2億8,556万円 契約の相手方：株式会社歌工務店	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号議案	山手線池袋・大塚間池袋大橋塗装塗替え及び耐震補強工事委託契約について	契約方法：随意契約 契約金額：33億3,713万4,000円 契約の相手方：東日本旅客鉄道株式会社首都圏本部	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号議案	公の施設の区域外設置に関する協議について	施設の名称：特別区道31―1180 設置場所：文京区大塚四丁目12番1から12番5までの一部及び107番 面積：283.67平方メートル	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号議案	令和6年度豊島区一般会計補正予算（第5号）	補正予算額：8億310万5,000円 補正後の額：1,596億7,147万4,000円	○	○	○	○	○欠席	○	○	可決
第76号議案	令和6年度豊島区後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	補正予算額：2億8,422万9,000円 補正後の額：76億3,726万3,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号議案	令和6年度豊島区介護保険事業会計補正予算（第1号）	補正予算額：5億2,699万6,000円 補正後の額：209億6,386万2,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
第78号議案	豊島区長等の給料の特例に関する条例	区長、副区長及び教育長の給料について特例を定める。	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号議案	令和6年度豊島区一般会計補正予算（第6号）	補正予算額：1億4,952万8,000円 補正後の額：1,598億2,100万2,000円	○	○	○	○	○欠席	○	○	可決

陳情の審議結果		自民党豊島区議団	公明党	立憲・れいわ	都民ファーストの会・国民	日本共産党	維新・無所属	無所属元気の会	結果
6 陳情第16号は、第3回定例会中に提出されたもので、令和6年第4回定例会で審査する予定です。									
5 陳情第11号	公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
5 陳情第13号	自民党区議の政治資金規正法違反に関する陳情	継続に賛成と除斥	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
6 陳情第7号	自民党豊島区議団による政治資金規正法違反の全容解明を求める陳情	継続に賛成と除斥	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
6 陳情第12号	生活保護行政での福祉事務所の精神障害における障害者加算の認定ミスによる適正な返還が行われているかについての陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
6 陳情第13号	いじめ調査委員会「調査報告書」に対する教育委員会の情報開示に関する陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
6 陳情第14号	核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に反対	継続審査
6 陳情第15号	マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択
6 陳情第16号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査

東京河川改修促進大会に参加

都内の14区21市2町1村が加盟する東京河川改修促進連盟の第62回総会及び促進大会が8月8日、調布市グリーンホールで開催され、議長、副議長及び議員14名が参加しました。
大会では東京全域の治水対策の促進を要望する宣言と、治水事業の強力な推進等を要望する決議を行いました。



東京都道路整備事業推進大会に参加

10月22日、千代田区の砂防会館別館において開催された第35回東京都道路整備事業推進大会に、本区から、議長、副議長及び7名の議員が参加しました。
道路整備の促進を求める宣言や、幹線道路ネットワークの整備推進等を要望する決議など、全ての議案が承認されました。



区政のここが聞きたい

第3回定例会一般質問(要旨)

9月25・26日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

夢あふれる豊島の
未来の為に、今何
ができるか！



自民党豊島区議員
池田 裕一



●令和五年度決算について

問 5年度決算について、高橋区長自身の評価は。

答 不合理な税制改正の影響が広がった中でも、区民生活支援に積極的に取り組みつつ、歳入・歳入・基金残高のいずれも、財政の健全性を堅持することができた決算と認識している。

問 5年度は物価高騰に対する的確に様々な支援をしてきたが、今後も先を見通すことのできる物価高騰への区の対策は。

答 社会経済状況の変化を注視し、これまで以上に区民の皆様の声、ニーズの把握に努め、対応すべき施策に取り組み、将来にわたる改築・改修需要を支える財政基盤の構築に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 計画的な基金管理、金利の動向を踏まえた起債の活用など、中長期的視点に立った財源確保策を計画していく。

●住宅施策について

問 住宅確保要配慮者に対する住宅の提供は重要課題であり、文京区のすまい住宅登録事業と同様の取組を行うべきと考え、区の見解と考える。

答 入居者、住宅オーナー、不動産店三者がメリットを感じられる効果的な事業であり、文京区の取組成果などを踏まえ効果的な支援を検討していく。

●商店街振興について

問 区民や商店街、事業者にとって、物価高騰に対して有効的であるプレミアム付地域商品券事業の来年度以降の見通しは。

答 消費意欲が向上されるなど、区にとっても有益な事業であると考えており、来年度も引き続き実施していく。

問 巣鴨四丁目児童遊園の整備計画と工期を改めて伺いたい。

答 巣鴨地蔵通り商店街会館と連携したイベントなどが実施可能な広場空間を確保し、来街者の憩いの場となるよう整備する。11月下旬完成を予定している。



プレミアム付地域商品券

●防災対策としての施設整備について

問 直近で改築計画がない学校施設においては、エレベーターを設置し、万一の災害の際、高齢者、障害者でも安心して避難できる体制をとるべきでは。

答 既存校への設置は、必要な面積の確保や耐震上の問題もあり困難なため、長寿命化改修などを行う際に積極的に検討する。

●ごみ排出対策について

問 二次電池による火災発生防止のため、二次電池を区の小型家電回収場所でも回収できると適正な排出につながるのでは。

答 安全・安心なまちづくりのため、小型家電回収拠点でも回収できるよう検討していく。

●巣鴨の街づくりについて

問 巣鴨駅前の冠水被害について、下水道局と区の話し合いの内容、結果並びに今後の対応は。

答 昨年11月に調査依頼の要望書を提出し、7年5月頃まで下水道局にて浸水対策の検討を行う。その後、下水道局と連携し対策を進める予定である。

誰もが暮らしやすい
人が主役の魅力ある
まちに



公明党
高橋 佳代子



●防災対策について

問 耐震化加速のため、今後どのように取り組むのか。

答 戸別訪問、広報としま等による意識啓発の強化や耐震改修助成金の上乗せを検討する。

問 集合住宅の防災対策に区が関わる仕組み作りと防災対策強化体制の構築が重要。見解は。

答 転倒防止器具の必要性の周知や防災対策への補助等、マンション管理組合と連携して区が関与する仕組みを作り、共に防災対策強化の方策を検討する。

問 シン・オートコールの有効性及び今後の導入の考えは。

答 区が導入済みの安否確認方法と並行して活用することで、効率化が格段に増加すると考える。周知方法を含め検討する。

●福祉施策について

問 生きづらさを抱えた子どもや若者への伴走型支援と学校だけでは支えきれない課題の重層的支援を実現する方法は。

答 早期かつ的確に相談支援に繋げるため、学校と地域の橋渡しを効果的にし、積極的なアウトリーチ活動の強化を推進。

問 家庭環境の問題は、学校だけでなく児童相談所等による関係者会議等において共有・課題整理を行い、福祉部署等を交えて分野横断で重層的な支援を進める。

答 重度障害者が入所可能なグループホーム整備を検討しては、喫緊の課題と受け止め、区

問 施設の再構築を進める中で整備に適した土地の選定等を進める。

答 区立保育園改修時等に医療的ケア児の受入れ施設を拡大すべき。区の考えは。

問 施設改修と人材の確保・育成両面での体制整備に取り組み、今後も区立保育園の改修等に併せて受入れ施設の拡大を進める。

問 高齢者の就労に対する区の考えと今後の取組は。

答 経済面だけでなく生活の質の向上に寄与する重要な課題と認識。就労に関するニーズを把握し、関係機関や民間企業等と連携し、高齢者の就労や支援の在り方について検討する。

豊島区の現在・過去・未来



立憲・れいわ
さくま 一生



●ソメイヨシノをはじめとする桜のブランディングと保全について

問 「ソメイヨシノの故郷」という駒込のブランドを高めるため、豊島区の特徴的な名所を選定したうえで、桜を重点的に管理することを提案するが、所見は。

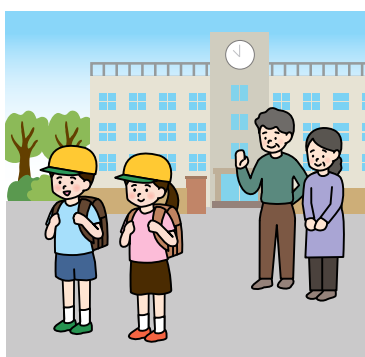
答 選定はせずに、駒込エリア全域を桜の名所としてのブランディングのもとに発展させたい。

●医療的ケアが必要なお子さんについて

問 まずは公立保育所が医療的ケア児を積極的に受け入れる必



移動支援の検討を



帰宅時の見送り

問 市民後見人のサポート体制の在り方や専門相談の充実の検討について、区の見解は。

答 弁護士相談や後見業務マニュアルの作成等、サポート体制を充実させている。引き続き社会福祉協議会と連携して区民後見人の活躍支援に取り組む。

●教育について

問 小学校の早朝預かりや帰宅時見送り等の実施を検討すべき。

答 アンケート結果や要望を踏まえ、働く保護者の負担軽減のため、朝の預かり及び帰宅時の見送りの早期実施ができるよう学校等と調整を進める。

遠方に通園する子どもと家族のため、移動支援をすべき。

課題の一つと認識。区立保育園にて自家用車の一時駐車スペースの整備を進めている。今後、本区の実情に即した実現可能な支援策を検討していく。

●**染井通りの無電柱化について**

大災害への備えの重要性が増すなかで、無電柱化の優先順位は高いと思うが、区の見解は。

染井通りは防災上重要な路線だが、多くの埋設物があり、

整備を進めるには厳しい状況。技術革新の動向を勘案しながら、優先順位を判断していく。

●**居住環境整備事業で取得した広場について**

「染井コミュニティ広場」は、イベント時にも使いやすい広場として再整備可能か。

拡張用地と既存の広場を一体的に整備することで、電気や水道設備の設置を前提に、イベント時に使用しやすい空間になることが期待できる。

令和5年度決算について

令和5年度決算の総括について区の考えは。

当初予算で計画した事業の着実な実施、補正予算編成による積極的な区民生活支援により、未来に向けて新たな第一歩を踏み出すことができた決算。

●**家庭系廃食油の回収**

区内でできるだけまんべんなく回収拠点を設置することが望ましいが、区の方針は。

区有施設を最大限活用する方針だったが、今後は利便性を考慮し、町域ごとに最低1拠点の設置ができるよう検討する。

●**マンガ・アニメを活用した文化振興策**

トキワ荘マンガミュージアムの最寄り駅3駅からの動線上に、施設までのサインを充実させるべき。また英語の併記も必要だと思うが、区の考えは。

トキワ荘らしい道案内の仕方を外国語表記も含めて工夫したいと考えている。地域の皆様とも協議のうえ、アナログ・デ

子供たちの世代へ責任ある政治を!!



都民ファーストの会・国民
細川 正博



デジタル両面から検討を進める。



トキワ荘マンガミュージアム

●新たな学校改築方針

校舎一体型小中連携校での校庭の確保、教室・管理棟の床面積確保への見直しと考える。

小学校と中学校で独立した校庭の整備に向け、他自治体の事例等を参考に検討していく。

教育活動に必要な諸室を確保するため、施設の共用化など、敷地を最大限に有効活用する。総合体育場の管理棟やスポーツ施設についても、可能な限り効率的な配置を検討していく。

校舎一体型小中連携校と、同一中学校区の小学校との間に、小中連携で極力格差を生まない

ための区の方針と考える。

小中連携連絡協議会を設置。各中学校ブロックの取組の情報交換や事例の効果検証を行い、小中連携教育を推進していく。

●**仮校舎にも、ICT機器や備品等を改築校と遜色なく整備すべきと考えるが、区の見解は。**

改築校と同等レベルのICT環境を確保していく。

総合体育場代替施設確保の状況は。再整備後の野球場は現行通り2面確保できるか。

代替施設として、旧真和学校や旧朝日中学校に加え、テニスコートやグラウンドを有する区内の大学や高等学校に貸出しの協力依頼をし、理解をいただきたい

誰ひとり取り残さない豊島区政を現実のものに

2023年度決算について

我が党が実施した区民アンケートでは、生活について86%が苦しいと回答している。積極的な財政出動を行ったというが、生活に苦しむ区民にどう反映させ、何が足りなかったと認識しているか。

コロナ禍や物価高騰が続く中、必要性を判断し、スピード感を持って取り組んできた。今後も、優先順位を判断し、進めべき支援策を検討していく。

●**区民要望の施策拡充**

災害時の個別避難計画作成に向けた対応策及び、未回答、未確認、不同意者への対策は。

福祉事業者の協力や町会、民生委員等による働きかけ等により、計画作成を進める。

安心住まい提供事業の拡充を見送った理由は。また、住み

ている。再整備後も2面の野球場の敷地を確保していく。

●**学校プールの管理のあり方**

自動で給水を止めるシステムは備えているか。備わっていない学校には導入すべきと考えるが、区の見解は。

現在13校に備えている。今後の学校改築や大規模改修で積極的に導入を進め、教員の負担軽減に繋げていきたい。

●**学校給食費の予算**

当初予算編成時に想定しきれない原価上昇は補正予算で対応すべきと考えるが区の見解は。

想定を超える物価高騰では学校給食維持のため、補正予算を含む予算上の措置で対応する。

日本共産党
垣内 信行

継続られる住宅対策として、更なる家賃補助の拡充や良質な住宅の提供を図るべき。

安心住まい提供事業を効果的に推進すべく、取組を進めている。また、重要課題のひとつである子育てファミリー世帯への住宅支援策については、すでに具体的な取組を示しており、今後もスピード感を持って住宅施策を推進する。

世帯への法外援護及び低所得者への物価高騰対策を拡充すべき。

生活保護世帯への新たな法外援護は慎重な判断が必要。また、低所得者への物価高騰対策は、国による給付金もあるため、現時点で拡充は考えていない。

●**教員不足への認識は。また、環境整備と併せ、全庁挙げて取組を推進すべきでは。**

教員不足と教員を取り巻く環境は大きな課題である。今後

健康で安全・安心なまちづくりをめざして17

健康で安全・安心なまちづくりをめざして17



維新・無所属
林 二葉



令和5年度決算について

経常収支比率が改善した背景には、人件費の削減も寄与したと考えるが、区の評価は。

人件費減少の主な要因である退職手当は、定年退職年齢の段階的引き上げ期間中は増加と減少する年度が交互に訪れる。その影響を除くと決して楽観視できるものではないと考える。

●**住宅宿泊事業（民泊）等について**

民泊に対する住民の不安や苦情への対応状況と無許可営業への指導・監視等の現状は。

住民からの通報には速やかに対応している。無許可営業には、速やかに現場確認を行い、事業者との接触を図っている。

●**まちのゴミ対策について**

ゴミが散乱する原因の分析とそれに基づいた対応策の強化を行っているか。

散乱の原因は出し方の問題であると考え。引き続き「ゴミ捨てマナー」の周知・啓発、場合によって訪問による指導を行う。

「SmaGO」はゴミ問題

も、教育委員会と連携を図り、必要な財源の確保と教員の働きやすい環境づくりを進める。

●**新基本計画策定について**

新基本計画が区民の需要に根差し、その指標が需要を満たす方向と目標になっているか。

様々な手法を組み合わせ、区民の声を積極的に把握する。指標の設定は、過去の事業実績や傾向、今後の区民ニーズ等を分析、検討したうえで決定する。

解決の新しいアプローチと考えるが、導入について区の見解は。

区としては、まず地元の主体的な取組が必要と考える。家庭ごみの持ち込みや、たばこの投げ捨てによる火災等も懸念され、費用対効果も十分勘案する必要がある。

現金受取等のATMを活用した現金受取サービスについて

各種給付金等を迅速・便利に受け取れるコンビニATMを利用した受取サービスの導入を検討しては。

他自治体で導入され始めたことは承知している。現在、事業者との連携の手法や会計処理の方法等を研究している。



スマートゴミ箱 (SmaGO)

豊島区の子どもたちが、自然・スポーツ・芸術等の活動体験を通じた豊かな外遊びで視野を広げられるよう、区としてのサポート体制の構築を!



無所属元気の会
小林 弘明



子どもたちの成長を支援する。

●長期休暇期間を含む、様々な外遊び・活動体験メニューの充実および活動体験格差の解消サポートについて

問 豊島区子ども若者応援プロジェクトの体験機会提供の実施状況は。

答 今年度は、無料の子ども寄席を2回開催し、100名の定員を超える多数の申込みがあった。今後も、体験機会を提供し、子

共に支えあう、豊島の未来。



自民党豊島区議団
有里 真穂



●豊島区の将来と方向性について

問 基本構想・基本計画実現のための財政基盤の強化や事業再構築、人材育成と職員定数の適正化、デジタル技術への認識と今後の方向性は。

答 どの取組も欠かせない。基金・起債の計画的活用、常に区民目線で困難な課題を自ら解決できる職員の育成、職員定数を適宜見直し、DX推進に向けた職員のスキル向上等を進める。

●高齢者に優しいまちづくりについて

問 在宅医療体制の充実に向けた支援体制と、今後の取組は。

答 医療DXを用いた24時間診療体制の構築は7年度で一定程度完成する見込み。この体制の維持・充実を検討していく。

問 孤立死が増加する中、単身高齢者が最後まで住み続けられるための今後のサポート体制は。



子ども寄席イベント

●文化施策について

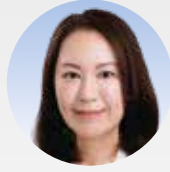
問 千早地域文化創造館建て替えへの区民や様々な年代の方や文化団体の要望は、今後の運用にどのように反映させるか。また、リニューアル後の特徴は。

答 既存利用者以外も対象にワークショップを実施し、意見を施設運営に反映していく。新機能としてエレベーターの設置や展示ギャラリー等を配置する。

問 新しい千早図書館は、様々な意見やアイデアを積極的に取り入れ、長く地域に親しまれる魅力的な図書館にしてほしい。

答 区民の期待に応える魅力的な図書館を整備していく。

問 千早地域文化創造館、千早図書館、千早二丁目公園は一体的な施設整備が求められるが、どのように連携を行っていくか。



公明党
北岡 あや子



誰一人取り残さない、やさしさあふれる豊島の街づくり

●防災震災対策について

問 気象防災アドバイザーは専門性の高い助言を行い、情報発信や防災意識向上のための講座の開催など、区独自の災害対策に必要と考えるが区の方針は。

答 現在、気象庁東京管区気象台と24時間の連絡体制や、ホットラインを構築しているが、今後は区民向け講座や訓練へ講師を招くことなどを検討する。

問 初動救助は命を救う上で重要。地域の防災ボランティアによる救助体制が必要では。

答 初動対応が対象の登録制度の構築や、救命救助活動に資する研修等の在り方を検討する。

問 文化芸術に力を入れている各施設の特徴を生かし、相互に連携できる形を強化する。公園では、各施設が主催する館外イベント等の取組を検討したい。



現在の千早地域文化創造館

●公園について

問 区として小さな公園の在り方を今後どのようにしていくか。

答 憩い、遊び、交流等、各公園の機能の役割分担を考え相互補完できる公園づくりを目指す。

●学校教育施策について

問 チームとしてしま等で企業の参加を募集。大学での講座やサークルへの働きかけを進める。

問 トイレトレーニングの導入を検討すべきだと思うが見解は。

答 他自治体の運用状況等をみながら慎重に研究する。

●ユマニチュード普及について

問 基本構想審議会でのいじめ対策の重要性が議論されていると聞くが、対策強化への見解は。

答 研修によりいじめについての共通理解を図る。また、初め対応強化のために区独自のフロ

問 ICT教育について、教育委員会と学校が一体となり取り組むべきだが区の見解は。

答 学校のニーズや課題等を常に共有できる体制を整え、主導性を発揮して具体的な方向性を学校とともに検討していく。

問 積極的なリーディングDXスクール事業への取組を要望するがいかがか。

答 ICT導入期を終えた今、ICTを活用した授業づくりや校務の効率化など、学校の現状



立憲・れいわ
塚田 ひろこ



生きてるだけで価値がある、としまのまちづくりへ

●区民参画とまちづくりについて

問 無作為抽出による大規模な区民ワークショップの意義と目的は。また、区民との対話からどのようなことを受け止めたか。

答 まちづくりに積極的に参加するきっかけとなることを期待する。区民の声をより積極的に把握することが必要と考える。

問 豊島区自治の推進に関する基本条例の現在の位置付けと基本構想、基本計画の関係及び、それを基本構想の冒頭に明示する必要性について区長の考えは。

答 本条例は基本構想等の基礎と位置付けており、その関係を明確にしているため記載しない。

●福祉政策について

を踏まえ、積極的にチャレンジできるよう検討していく。



学校で使用しているタブレット端末

●トキワ荘通り周辺の街づくりについて

問 コンセプトを設け統一性を示してはどうか。また今後のまちの活性化に向けた考えは。

答 「昭和レトロの雰囲気」をコンセプトとして大事にしつつ、今後も回遊性と活気にあふれるまちづくりを進める。



新デザインのポスターを作成

問 福祉に特化した総合窓口案内コーナーを設置し、庁内のこととを把握している、再任用の適任職員を「コンシェルジュ」として配置いただきたい。

答 福祉総合フロアのフロアマネージャーが内容に応じて案内部署をつなぐことが効果的であ

るため、コーナ―を設けること、コンシェルジュの配置はしない。

問 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの進捗状況は、また、ワークショップの様子、実施から見えた地域課題、当事者の声について、区の考えは。

答 今年度はより実態に沿った地域課題の抽出を目指す。課題

は地域支援協議会全体で解決に向けた取組を検討する。

問 生活保護受給検討者への啓発や助けとなるポスター等を作成し、困った人に寄り添ったものに改訂すべき。

答 相談・申請のリーフレットを区施設に配置、HPに掲載予定。HPも年内に刷新する予定。

多様な人材が活躍できる街、豊島区を目指して



都民ファーストの会・国民
原田 たかき



●公契約条例について

問 公契約条例の望ましい内容について、区の考えは。

答 IL094号条約型を基本とし、区実施の労働条件等調査の実績を踏まえ、区内事業者と丁寧な意見交換を重ねながら、公契約条例の早期制定に向けた準備を進めてまいりたい。

●相続・死後事務支援について

問 おくやみコーナ―を専門家による相談窓口として再構築する提案及び専門家との短時間のオンライン面談を支援メニューに追加する提案への区の見解は。

答 現状、職員が対応することのメリットが大きいと考えているが、専門家相談の連携は必要。専門士業の予約時間等の利便性の向上や、協力を得られる方策について検討していく。

●外国人政策について

安心して暮らせるケアに手厚い豊島区政に



日本共産党
小林 ひろみ



●高齢者、障がい者、保育施策の拡充について

問 特養ホームの待機者は今年6月末で465人。特養ホームの具

体的な建設計画と待機者名簿の精度向上は。

答 特養ホームは学校改築のスケジュール等と合わせ、検討を



外国人材の力で地域活性化

問 外国人材の力を地域の活性化に向けて積極的に活用する政策への区の見解と今後の方針は。

答 外国人住民が活躍できるよう、地域コミュニティや区政への積極的な参画が重要。今後もタウンミーティングや異文化理解事業、交流イベント等への支援を行い、外国人の方が持つ強みや独自の視点・発想が区政や地域活動に活かされる、共創によるまちづくりを進めたい。

進めている。特養施設長会と待機者名簿の精度向上に向け、検討を進めており、今後も意見交換を行う。

問 保育園の保育の質を確保し、安定した運営となるよう、欠員補助を年度末まで支給せよ。

答 減収補助の見直しは考えていない。

問 区内の福祉施設で働きたい人が増えるよう、合同入職式・表彰式の実施やパワハラ・セクハラ・カスハラ相談窓口の設置検討をすべき。

題を一つ一つクリアしながら、本格導入を目指す。

●会計年度任用職員について

問 会計年度任用職員の更新限度の撤廃を求める。

答 今年度から更新限度を撤廃することとし、公務公共一般労働組合に提案した。今後、他の職員団体にも提案するとともに、規則改正等の準備を進める。

●「みどり」のまちづくりについて

問 学術論文による樹冠被覆率の減少要因の分析を。また、基本計画等に樹冠被覆率の目標値を持つべきではないか。

答 緑被率とみどり率の2つを指標とし、緑の量を的確に捉えることができるため、新たな指標を加えることは考えていない。

問 福祉施設での合同入職式・表彰式の実施については、事業の実施時期や事業者の意向を踏まえ、他自治体の取組と成果も見極めて検討している。また、ハラスメントの相談窓口については、東京都社会福祉協議会設置の相談窓口を案内しており、現時点で区に設置の考えはない。

問 「超短時間雇用モデル」について、サンシャインシティとの雇用モデル実証実験のための協定の今後の方向性は。誰もが社会、地域とつながれる豊島区の実現を。



「みどり」のまちづくり

過去の事象から謙虚に学び、未来へと繋げていく豊島区となろう！



維新・無所属
ふるぼう知生



●子育て施策について

問 流入に依存せず人口が維持できる街、人口が自然増となる区となるために、どのような施策が必要と考えるか。

答 子育て支援のみならず、安全・安心の確保、福祉・健康施策、文化振興等による賑わい創出などの施策を、総合的に展開していくことが重要である。



子育て施策について

問 子育て支援施策全般にわたる今後の施策の展望や方向性は。

答 切れ目のない出産・子育て支援策をより、きめ細やかにできるよう努めるとともに、子どもたちの成長の段階に応じて関わりあう課題について、組織横断、連携した取組を強化する。

つ、中長期的視点に基づく計画的な財政運営に努める。

●公益通報制度について

問 公益通報対応義務従事者を定める義務と必要体制の整備その他の必要な措置をとる義務の決定時期及び方法は。

答 平成18年に作成した豊島区公益通報処理ガイドラインに定め、運用している。

新たな課題と政策の着実な推進に向けて



立憲・れいわ
宮崎 けい子



問 旧時習小学校の売却により、その後の学校の改築計画に大きな支障が生じたのではないか。

答 旧時習小学校の売却は、近隣小中学校の改築に必要な仮校舎が失われることも十分に踏まえた上での判断である。今後、直面する課題に的確に対応しつつ

問 区で兵庫県と同様の内部通報がされた際、どのような対応が想定されるのか。

答 必要な調査により、事実と判断した場合、速やかに是正措置や再発防止策を講じ、事実でないことが判明した場合、その旨を速やかに通報者に通知する。

●子育て政策について

問 本区の男性育児支援の考え方や方針、そしてその理念をどのように広めていくのか。

答 育児しやすい環境整備が必要である。男性育児支援事業の情報一元化に取り組み、民間支援団体との連携を深める。また、父子手帳の配付、HPやSNS等での情報発信を強化する。

動する事業者と協定し着実に成果も出ていると聞く。具体的な成果とその評価、今後の課題は。

答 32事業者と協定を締結。高齢者総合相談センター等の重層的な見守りにより、相談・支援につなげる体制ができています。今後、より効果を高めるため、関係者間協議・情報交換を行う。

●長崎村のまちづくりについて

●高齢者の社会的孤立について

問 孤立防止のため、区内で活



男性育児支援の充実を

問 駅前も生まれ変わり、トキワ荘等の誕生により観光資源も備わってきた。これらを繋ぐ商店の増が鍵である。空き店舗対策への課題感。今後の展開は。

答 商店街は地域の安全安心に寄与し、コミュニティの場として重要な役割を担っている。空き店舗対策や開業に向けた物件が少なく、探しにくいことが課題であり、地域に詳しいコーディネートとの連携を強化する。

常任委員会

Q

&

A

総務委員会

開会日 9月30日(月)・10月3日(木)
案件 議案6件・陳情1件
・報告5件等

●豊島区男女共同参画推進条例(一部改正)

問 ファミリーシップ制度を導入していく中で、行政サービス等における不利益や社会的な理解の不足など課題への対策は。
答 利便性の向上や講座などによる周知啓発に努めていきたい。
●令和6年度豊島区一般会計補正予算(第5号)

問 郵便料金の値上げに関し、DX化の推進に向けた考え方は。
答 郵送だけに頼らず、行政手続のオンライン化をさらに進めていきたい。

区民厚生委員会
開会日 9月30日(月)
案件 議案5件・陳情2件
・報告4件等

●豊島区地域区民ひろば条例(一部改正)

問 移転後の区民ひろば朝日では屋上の利用ができるとのことだが、区民からの要望は。

答 夏休みに子どもたちが星空を見る事業や、道路がないところで外に出て伸び伸びとできるような事業に屋上を利用したいという要望があった。

問 屋上の安全確保は。
答 設計変更し、鉄骨の増設や屋上のフェンス、外部階段、防音フェンス等を追加した。

都市整備委員会

開会日 10月2日(水)
案件 議案1件・報告1件等

●公の施設の区域外設置に関する協議について

問 なぜこのタイミングで豊島区道が文京区にまたがっていると分かったのか。

答 都市計画道路補助80号線の測量調査の際に明らかになった。行政界を明確にするため、文京区と協議を行う。

●千川増強幹線事業について

問 本事業における区の予算の持ち出しはあるか。

答 都下水道局が実施している事業のため、区の予算の持ち出しはない。

子ども文教委員会

開会日 10月2日(水)
案件 議案1件・陳情1件
・報告6件等

●豊島区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例

問 既存の基準が条例として制定されたが、大幅な変更点は。
答 設備及び運営の大幅な変更はないが、児童の権利擁護や意見を尊重することを規定する。

問 理念は条例により強化されたが、具体的な対応項目としての変化は。

答 例えばLGBTQと言われる子どもたちの多様なアイデンティティに対応した運営を行うことが新たに盛り込まれている。

決算特別委員会

9月18日の本会議にて、令和5年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、18名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月23日には、会派ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

政策経営費

●広報戦略、広報方針について

問 区の広報戦略、広報方針に関し、他の自治体との違いは。

答 区長が、直接区の取組や魅力を発信する記者会見を定期的に行っているのが特色である。

総務費

●救援センターについて

問 災害時に避難者が救援センターの想定人数を超えた場合は。

答 45の補助救援センターを設けており、順次開設していく。

●繁華街対策について

問 繁華街における環境浄化パトロールの効果は。

答 見える警戒となる。また、直接声をかけることにより、引き抑止の効果を上げている。

●平和事業について

問 平和記念(祈念)式典への中学生派遣を毎年実施しては。

答 教育的効果を教育委員会と検証し、考えていきたい。

区民費

●町会のデジタル化について

問 デジタル化推進に向けた区のこれまでの取組は。

答 令和3年度から区政連絡会のオンライン化を実施している。

問 今後の支援は。

答 デジタル掲示板の導入やホームページ作成支援などとともに、町会の垣根を超えた横連携の仕組みについても検討したい。

福祉費

●高齢者の見守り支援について

問 見守り支援担当の役割は。

答 一人暮らし高齢者または高齢者のみ世帯の実態把握・情報収集・相談対応・地域の見守りネットワークづくりなどの役割を担っている。

衛生費

●ワクチン接種について

問 带状疱疹ワクチンの対象者と助成の概要は。

答 50歳以上の区民が対象。不活化ワクチン・生ワクチンのいずれも半額程度を助成している。

問 定期接種化のメリットは。

答 健康被害が起きた時の補償が、より充実したものとなる。

環境清掃費

●食品ロス削減推進事業について

問 毎年、講座やイベントを実施し、新たな啓発アイテムの検討中と聞いているが、それらの具体的な内容は。

答 5年度は映画観賞会、6年度は女子栄養大学の教授を講師とした親子キッチンを実施した。同大学が監修した食べきりレシポの冊子等の作成を考えている。

都市整備費

●池袋副都心交通戦略の推進について

問 池袋駅東口のクルドサック化とグリーン大通りの広場化による効果は。

答 西口でも再開発が行われることから、他のターミナル駅では見られないほど、東西が一体的で大規模な歩行者空間となることが見込まれる。

文化商工費

●劇場やホールの改修について

問 利用率が高い施設の設備等の劣化による問題と区の対応は。

答 舞台芸術交流センターの設備は、老朽化のため機器全体の改修が必要と認識している。耐用年数をしっかりと守りながら機器の入れ替え等を行う。

子ども家庭費

●子ども食堂について

問 区内の子ども食堂と区の間わり方は。

答 15施設に補助金を支給し、ネットワーク化による情報共有や、衛生管理等の研修の実施などにより連携を図っている。

教育費

●コミュニティ・スクールについて

問 ISS活動の発展形であるコミュニティ・スクールについて、今後の取組は。
答 今まで培った安全・安心な学校づくりにSDGsや防災活

動等を組み込み全校で実施予定。

国民健康保険事業会計

●国民健康保険料の収納対策について

問 外国人の収納率改善のためにどのような取組をしているか。

答 東京出入国在留管理局と連携し、滞納者との接触機会を増やす取組を進めている。

後期高齢者医療事業会計

●保険料について

問 開始当初と現在の保険料は。
答 平成20年時点の平均保険料は8万9千300円。令和6、7年度の平均保険料は11万1千356円。

介護保険事業会計

●介護保険サービスのニーズについて

問 介護保険サービスの拡充についての考えは。

答 国の制度のため、区独自のサービスの拡充は難しいが、他自治体の取組を参考にDX化の推進を検討していく。

決算特別委員会委員名簿

◎委員長	◎委員長
◎島村 高彦(公明党)	◎磯 一昭(自民党豊島区議団)
井上 幸一(自民党豊島区議団)	泉谷つよし(維新・無所属)
ふるぼう知生(維新・無所属)	西崎ふうか(立憲・れいわ)
宮崎けい子(立憲・れいわ)	ふま ミチ(公明党)
藤澤 愛子(自民党豊島区議団)	池田 裕一(自民党豊島区議団)
片岡きょうこ(都民ファーストの会・国民)	塚田ひさこ(立憲・れいわ)
清水みちこ(日本共産党)	辻 薫(公明党)
細川 正博(都民ファーストの会・国民)	中澤まさゆき(都民ファーストの会・国民)
儀武さとる(日本共産党)	垣内 信行(日本共産党)

令和5年度各会計決算 に対する各会派等の

自民党豊島区議団

令和5年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

物価高騰対策や区独自の子育て世帯支援など機動的に対応。基金残高は前年度比増、特別区債は前年度比減と財政の健全性を更に高めることができた。

個別に意見を述べる。災害における自助・共助・公助それぞれの強化を。高齢者に配慮したスピード感のあるDX推進を。看護師会との連携で利用しやすい新保健所の設置を。区民活動補助金は必要な事業には確実に補助を。建築物等耐震化助成の上乗せの検討を。地域の声に耳を傾け、池袋本町の防災まちづくりの更なる推進を。池袋副都心交通戦略は様々な観点からの検討を。子どもからお年寄りまで楽しめる公園整備を。空き店舗活用のため伴走型支援の継続を。移動教室や校外学習の充実を。地方との交流を推進し、区の魅力を全国に発信できる体制づくりを。児童相談所の丁寧な運営で子どもが安心して生活できる環境整備を。滞納者の生活実態を踏まえた適切な対応で着実な国保料収納対策を。

物価高騰など本区を取り巻く環境が不透明さを増す中、区の輝かしい将来像を着実に実現できるよう引き続き計画的な財政運営に努めることを要望する。

公明党

令和5年度一般会計、3特別会計決算の認定に賛成。以下は、事業別意見と要望。

●投票所では、障がい者・高齢者等へ丁寧な投票支援を●平和記念式典には、毎年中学生の派遣を●災害時要援護者には、家具転倒防止策の実施を●若年女性の多様な居場所存続と生理用品無償配布場所拡充を。

●産後ケア事業宿泊型は利用日数、通所型は利用施設の拡充を●アピアランスケアは、「エピテーゼ」への補助導入を●「グリーフケア」の周知やホームページでの丁寧な説明を●歯周病検診におけるヤング世代の更なる年齢拡大を●災害時生活必需品（口腔衛生）備蓄にキシリトールガム追加を●断らない相談窓口事業の充実により地域共生社会の構築を。

●路上喫煙禁止・ポイ捨て防止事業は、新たな喫煙場所の指定や管理の効率化を●高松地区浸水対策の進捗状況を地域に対して丁寧に説明を●大家さんと要配慮者の双方が安心できる住宅環境の整備を。

●自閉症・情緒障害特別支援学級の増設を●小1の壁対策として早期預かり・帰宅時見送りの早期実施を●日本語指導は、より一層の体制強化を。

●ボランティア団体による日本語教室は、受入れ枠の拡大を。

立憲・れいわ

令和5年度一般会計並びに3特別会計決算の認定に賛成。審査に当たっては、安定的で持続性のある財政か、目的が妥当でどれだけ実績を出せたか、区民の声が反映された施策かの3つの視点に立ち審査に臨んだ。

事業ごとに要望を述べる。救援センター等備蓄関係事業では、新たにおりものシートの備蓄を。歯や口腔の健康チェックは虐待や生活困窮の孤立等を疑う指標になるため、横断的な地域医療の充実を。食品ロス削減推進事業では、食べきり協力店の登録及び普及啓発について目標を定め、積極的に増やす取組を。子育て世帯見守り訪問事業については、必要な家庭全てが利用できるように土日休日夜間の対応と、時間指定で予約できる仕組みを。また、区民の知る権利を保障する情報公開制度は、区民に対して積極的な情報開示、透明性が必須であることを再度提言する。非課税世帯への給付金、物価高騰への対策、子育て世帯見守り訪問や給食費無償化などの区独自の子育て世帯への支援等、区民の生活支援に取り組んだ決算と評価。一方、長いスパンでは不確実な要素が散見される。「既存事業の集中的な見直しに全庁上げて取り組む」と区は明言をしているので、注視して次の審査に臨む。

都民ファーストの会・国民

令和5年度一般会計・3特別会計決算の認定に賛成。区民生活を支えるための臨機応変な財政出動を行いつつも、財政の健全性を堅持した決算と評価する。

以下、個別意見と要望。行政手続きのオンライン化では区民の負担を減らすようメニューの充実を。繁華街のパトロールなど引き続きの対策を。防災対策では未整備の資機材を早急に配備するとともにマンホールトイレ等災害への備えの充実を。町会活動のデジタル化、町会掲示板支援への拡充を。障害の種類にかかわらず支援が行き渡るような施策の展開を。小児・AYA世代のがん患者への支援の拡充を。商店街内の道路整備を通じた賑わい創出への後押しを。大塚駅周辺整備は地域と連携した対策を。無電柱化については、地域への情報共有に努めるとともに着実な整備を。教員が本来業務に集中でき、子どもたちと向き合う時間を増やすよう働き方改革を。地域と共にある学校にはコミュニティ・スクールの導入、コディネーター設置の推進を。不合理な税制改革について、国へ改善を強く求める。3特別会計については、持続可能な制度として存続できるように取組を。歳出の見直しを含めた対策を行い、持続可能な財政運営が行われることを望む。

日本共産党

2023年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対する。

第一に区民生活を守り、需要を満たすために全力を尽くす執行を進めていない。①防災対策について避難場所の確保が不十分。②物価高騰で、暮らしが深刻。生活保護利用者への法外援護の拡充を求めても拒否。③区営住宅等の新規建設はしない。「安心住まい提供」事業も拡充しない。④中小企業・中小業者への家賃や固定費の直接支援もない。⑤西栗鴨地域への特養ホーム建設は大幅に遅れ、見通しもない区の責任は重大。⑥介護事業所の実態調査実施と具体的な処遇改善もない。⑦障がい者施設の職員確保に区独自の支援策もない。⑧私立保育園の減収補助を年度末まで支給しない。⑨教育の私費負担軽減を求めても拒否するなど、認められない。第二に区民にとって不要、不急の事業を進めている。東池袋一丁目地区と南池袋二丁目C地区の2地区だけでも685億円の税金を投入し、住民を追い出す市街地再開発事業は見直すべき。イケバスに多額の税金を投入するのではなく区民の要望に応えるのではなく区民の要望に応える。コミュニティバスを導入すべき。保険料負担が大きい国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計も認められない。

維新・無所属

令和5年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定について、審査により概ね了とし、賛成。徹底した行政のスリム化、効率的な公共サービスの提供、未来への投資というテーマ、来年度の予算編成につながる決算審査という観点で質疑を行った。

款別には、選挙時の公営掲示板はコスト・環境面での工夫を。セーフコミュニティは、認証活動の継続は止めて、これまでのノウハウを生かした活動を。認知症の行方不明者に対してできる限りの対応を。妊娠子育て支援事業は、今後も子育て世代に寄り添い、選ばれる自治体となる施策の展開を期待。計画通り清掃工場の建替えを進めることを希望。自転車ヘルメット普及啓発事業は、更なる施策の展開を。区道整備事業は区民の利益に繋がる整備を。三芳グラウンドは、売却も含め今後の在り方の検討を。学校の授業以外にも地域社会での体験を重視した教育の機会を増やす工夫を。としま未来文化財団の大改革を成し遂げることを期待。池袋西口公園野外劇場大型ビジョン広告料の収益向上を期待。国民健康保険事業会計では無駄の削減で安定的な運営が可能となることを要望。

時代のニーズに合った必要な区民サービスの更なる向上が図られる区政を期待する。